

臨床工学部

1. スタッフ構成(2026年3月時点)

- 岡本 賢二郎(腎糖尿病センター長、臨床工学部長)
- 鶴本 創(総務医事課主幹);臨床工学部次長
- 久枝 正実(担当係長)
- <透析室係>
- 西田 美穂、谷口 亜弓、湯岑 葵、桑尾 芽依、西村 彩香、
金谷 有花、秋田 源輝、高橋 成実、杉 華菜子、藤岡 勇輔
- <手術部・ICU 係>
- 天野 雄司、薬師神 宏、益田 夏季、築山 信哉、羽藤 琢登
- <心臓カテーテル室係>
- 宮田 圭、大久保 祐紀、村上 莉沙、河野 大輝、坂東 利紗
- <内視鏡室>
- 大北 茉耶
- 会計年度任用職員:5名
- 補助スタッフ:1名
- CE 補助スタッフ:5名

2. 認定資格取得(2026年3月時点)

資格名	資格取得者
医療機器センター透析技術認定士	西田美穂、谷口亜弓、 金谷有花、西村彩香、 椿本康平、大北茉耶
日本体外循環技術医学会体外循環技術認定士	久枝正実、天野雄司、 西田美穂、薬師神宏、 益田夏季
医療機器センター3学会合同呼吸療法認定士	天野雄司、湯岑葵、 谷口亜弓
日本麻酔科学会周術期管理チーム認定臨床工学技士	天野雄司
日本心血管インターベンション治療学会 ITE 心血管インターベンション技師	宮田圭
透析技能検定1級	谷口亜弓
日本不整脈心電学会心電図検定2級	大久保祐紀、河野大輝
日本科学技術連盟 QC サークル指導士	天野雄司
日本不整脈心電学会植込み型心臓不整脈デバイス認定士	宮田圭、村上莉沙、 河野大輝
日本アフェレシス学会認定技士	谷口亜弓
認定血液浄化臨床工学技士	谷口亜弓
CDR 認定	村上莉沙
JHRS 認定心電図専門士	村上莉沙
心不全療指指導士	村上莉沙
認定集中治療臨床工学技士	益田夏季

3. 運営方針

- (1) 業務を安全・確実に行う
生命維持管理装置の操作および保守点検を確実にに行い、専門技術者であることを認識し、最善の努力を払って業務を遂行します。
- (2) 医療機器管理業務を充実させる
医療機器の中央管理業務を推進し、保守管理業務を行い、故

障時に迅速な対応をするために、院内で補修できるように努めます。

(3) チーム医療に積極的に参加する

医師をはじめ看護師、その他の医療関係職種と緊密に連携し、医療チームの一員として、質の高い医療を確保することに努めます。

(4) 院内外への情報発信と教育を充実させる

ホームページコンテンツを充実させ、医療機器に必要な情報を発信するとともに、定期的に研修会を開催・受講し、スキルアップを図ります。

4. 実績

(1) 医療機器管理業務

- 中央管理機器貸出および返却回数
- 貸出:32,392回
 - 返却:32,021回

■ 各機器保守点検台数

	技士保守点検台数	メーカー保守点検台数
輸液ポンプ	17,496	0
シリンジポンプ	9,571	0
人工呼吸器	914	15
除細動器	407	0
低圧持続吸引器	742	0
IABP	16	0
電気メス	21	0
PCPS	32	0
ドリップアイ	2,400	0
フットポンプ	96	0

■ 中央管理機器保有台数

中央管理機器	台数
輸液ポンプ	521
低圧持続吸引器	39
シリンジポンプ	453
経腸栄養ポンプ	10
ドリップアイ	75
フットポンプ	124

(2) 手術室業務

■ 手術室対応業務件数

手術室業務	2024	2025
ナビゲーション業務	226	216
手術支援ロボット業務	448	419
自己血回収装置操作業務	29	19
神経モニタリング(脳外・整形)	72	80
TAVI(経皮的大動脈弁置換術)	111	110

■ 心臓血管外科手術業務件数

人工心肺関連業務	2024	2025
人工心肺手術総数	133	151
うち緊急手術	25	35
Off-Pump CABG	34	35

(3) 心臓カテーテル室業務

下肢の石灰化病変を削るローターブレードと心房細動治療にパルスフィールドアブレーション(PFA)が導入されました。

■ 心臓カテーテル室対応件数

	2024	2025
心臓カテーテル室対応総件数	1,270	1,252
うち PCI	369	357
うちデバイス挿入・交換	153	154
うちリード抜去	1	5
うちアブレーション業務	179	167
うち頸動脈ステント留置術(CAS)	7	7
うち PTA	116	73
ペースメーカー外来	1,023	946
遠隔モニタリング	487	282

(4) 透析室、ICU における血液浄化関連業務

CAR-T 細胞療法を開始しました。

透析室業務:透析用水水質検査(18 回/年)

■ 血液浄化関連業務件数

治療法	2024	2025
CHDF	83	114
HD	3,706	5,673
On Line HDF	7,516	4,863
PE	69	87
DFPP	20	5
LDL 吸着	0	3
腹水濾過濃縮	0	3
GCAP	15	32
末梢血幹細胞採取	8	7
骨髄濃縮	0	1
レオカーナ	8	11

■ 研修会・講習会開催

開催日	内容	対象	参加
2 月 25 日	IP 自動ワンショット・アーチループ回路の仕様	透析室スタッフ	21 名
2 月 28 日	IP 自動ワンショット・アーチループ回路の仕様	透析室スタッフ	7 名
4 月 3 日	1 年次研修医オリエンテーション	研修医	12 名
4 月 24 日	デモ使用人工呼吸器	臨床工学部	16 名
5 月 15 日	IVUS 操作研修	臨床工学部	6 名
5 月 28 日	Impella ハンズオン	臨床工学部	7 名
7 月 9 日	nCPAP ドライバーCNO	医師、看護師、臨床工学部	6 名
7 月 10 日	nCPAP ドライバーCNO	医師、看護師、臨床工学部	17 名
7 月 11 日	nCPAP ドライバーCNO	医師、看護師、臨床工学部	18 名
8 月 7 日	新人看護師研修会	看護師	52 名

9 月 24 日	NPPV 用人工呼吸器	臨床工学部	10 名
10 月 8 日	集中治療室の血液浄化療法	看護師	7 名
10 月 8 日	人工呼吸器(SERVO-n)	臨床工学部	8 名
10 月 9 日	医療安全トピックス研修会	病院職員全体	89 名
10 月 10 日	人工呼吸器(SERVO-n)	臨床工学部	11 名
11 月 20 日	人工呼吸療法について	看護師	11 名
11 月 20 日	麻酔器(Flow i)	看護師、臨床工学部	7 名
11 月 25 日	麻酔器(Flow i)	看護師、臨床工学部	10 名
11 月 27 日	麻酔器(Flow i)	看護師、臨床工学部	2 名

5. 2026 年度目標

- (1) 医療機器の取り扱いを安全・確実に行います。
 - 方法:定期的な研修会・勉強会を開催します。
年度初めに研修会・勉強会スケジュールを作成します。
対象者:臨床工学技士、看護師、医師、病院スタッフ
- (2) 業務の手技・運用方法の効率化を検討します。
 - 方法:手技および運用方法を再検討し、業務の効率化を図ります。
- (3) 医師・看護師業務のタスクシフト/シェアを検討します。
 - 方法:運営委員会や検討会等で協議していきます。

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 西田美穂、湯岑葵、益田夏季、薬師神宏、天野雄司、久枝正実. 左側脳室内腫瘍摘出術において複数のモニタリングの併用が有効であった 1 例. 第 15 回中四国臨床工学会. 広島 (2025.9.6-7)
2. 益田夏季、西田美穂、天野雄司、久枝正実. 血管撮影室における術中神経モニタリングの 1 例. 第 15 回中四国臨床工学会. 広島 (2025.9.6-7)
3. 羽藤琢登、築山信哉、益田夏季、薬師神宏、西田美穂、天野雄司、久枝正実. 体外循環開始前 ATIII 欠乏症により ACT が延長しなかった 1 例. 第 15 回中四国臨床工学会. 広島 (2025.9.6-7)
4. 宮田圭. IVL について-Imaging の見方-. ARIA2025. 福岡 (2025.11.21-23)
5. 坂東利紗. ローターブレード使用時における X 線空間線量率の測定と被ばく最小化戦略. ARIA2025. 福岡 (2025.11.21-23)